

2015 年度コンクリート主任技士試験解答・解説 訂正箇所

2016 年 8 月 9 日

読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、下記のとおり修正してお読み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

12 ページ〔問題 10〕の解説 (4) 赤字部を訂正

～高性能減水剤を主成分にしている。

28 ページ〔問題 23〕の解説 (3)

(3) 一般の水中コンクリートでは落下させない。しかし、水中不分離性コンクリートの打込みは、静水中（流速 5cm/s 以下）で水中落下高さ 50cm 以下を原則とする。また、打込みはコンクリートポンプあるいはトレミーの使用を原則とし、水中流動距離は 5m 以下とする。

30 ページ〔問題 25〕の解説 (1)

(1) 高流動コンクリートは自己充填性を期待し、複雑な構造物への打込み作業に有利である。水中構造物に打ち込むコンクリートには水圧や浮力を受け、流動性やセルフレベルリング特性が抑制されること、また、コンクリートは多くの粉体や増粘剤からなり、水との接触は懸濁物質を流出させ、組成の均一化が失われるので、総合的にみて、「水中での自由落下を伴う打込みにも適している」は不適當。

35 ページ〔問題 28〕の解説下から 4 行目 赤字部を訂正

∴ $M_{BC} = + PL$